

RobecoSAM社の2017年サステナビリティ格付けで 「ブロンズクラス」に選定

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、RobecoSAM 社がこの度発表した「サステナビリティ・イヤーズブック 2017 年度版」において、サステナビリティ（持続可能性）の分野で優れた取り組みを実践している企業として「ブロンズクラス」に選定されました。SRI（社会的責任投資）に関する調査・格付機関である RobecoSAM 社は、世界の主要企業 2,000 社超を調査し、60 の業種ごとに上位 15% を長期的に高い株主価値を提供する企業として選出、この年次報告書にて発表しています。LIXIL グループは、3 年連続で同報告書に掲載されています。

RobecoSAM 社は、サステナビリティ投資に関する調査・分析を行っており、経済、環境、社会の 3 つの側面から、企業のサステナビリティへの取り組みを評価しています。LIXIL グループでは、グローバルでのガバナンスおよびコンプラ



ROBECOSAM
Sustainability Award
Bronze Class 2017

イアンス体制の強化を戦略的に推進していますが、こうした施策が奏功し、今回の審査では、特に経済面の主要指標であるコーポレートガバナンスとコンプライアンスに関して、前年度に比べ、大きな改善が見られました。また、かねてより、バリューチェーン全体における環境負荷低減にも積極的に取り組んでおり、環境面でも引き続き高い評価を獲得しています。

LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループでは、サステナビリティを事業の中核に据え、グループ全体で取り組みを強化しています。2016 年には、コーポレート・レスポンシビリティ戦略を刷新し、注力分野を明確化しました。また、企業を評価する軸として ESG（環境・社会・企業統治）への投資家の関心が高まっていますが、すべてのステークホルダーに対して、タイムリーかつ透明性の高い情報開示に努めてまいります」

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。2011 年に国内の主要な建材・設備機器メーカー5 社が統合して誕生しました。以後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Group といった海外企業の統合により、世界的ブランドを傘下に収め、現在、LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technology の4つのテクノロジー事業に加え、日本における営業活動を担う LIXIL ジャパンカンパニーを軸に幅広く事業を推進しています。

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2016年3月期の連結売上高は1兆8,905億円※です。

※国際会計基準（IFRS）ベース